

道の駅駐車場と花はす田の整備は

質問

ふれあいの里は、オープン9年目になり、売り上げも順調に推移していたが、ここ数年減少傾向にある。客が、日曜日に集中、また、イベントなどで、駐車場の一部を使用し、駐車場が狭く整備を。

経済建設部長

現状では、71台分のスペースがある。県が管理しており、現段階では、整備、拡張する予定はないとの返事だ。

質問

協議会で、立田以外の会員

募集や、商品開発を行い、運営については努力をしている。駐車場拡張は、市で行えないか。

経済建設部長

ふれあいの里運営協議会と、市も交えた中で、長期計画実行委員会を立ち上げ、将来の道の駅の方向性を検討している。今後、利用者が増え、常時駐車場不足が続くなら県に強く求めることは可能だ。

市長

協議会の中で、売り上げが下がっているなどの課題を克



堀田 清 議員

服する事が先決だ。年間を通じての事業計画、来場者の見込み、収支の見通しなど、指定管理者である協議会の報告を踏まえ、総合的に判断をして行かねばならない。

質問

前市長が、市の観光拠点として、ふれあい公園的な構想を検討した。内容、課題、結果は。

経済建設部長

公園敷地内に32品種の花ハスの保存田を検討した。事業の見直しにより、事業化については、今後の検討課題だ。



立田ふれあいの里

防災無線活用は

質問

子供の下校時の見守りの呼びかけや熱中症注意などの放送を流せないのか。

部長

平成27年4月から、市内全域の防災無線の確立ができる。行政情報をごとまで流すかのガイドラインもできる。立田地区ではじばうへの間は、現行の形をとっていききたい。